

令和5年度 専修大学熊本玉名高等学校  
「学校評価アンケート」の結果について

専修大学熊本玉名高等学校  
校長 渡辺 正隆

本校では、令和6年3月に学校評価アンケートを実施しました。実施にあたりましては、多くの生徒及び保護者の皆様からご協力いただき、誠にありがとうございました。

この度のアンケートでは、学校生活全般・学習・生徒指導・進路指導など本校の教育活動全般にわたって評価していただきました。

これらの評価を真摯に受け止め、学校改善に取り組むとともに、次年度の学校教育づくりに努めていきたいと考えています。今後も保護者の皆様方のより一層のご支援をお願いいたします。

○掲載内容

- ①生徒アンケート集計結果
- ②保護者アンケート集計結果
- ③本校教職員アンケート集計結果

## 令和5年度学校評価アンケート結果を受けて

令和5年度のアンケート結果のうち生徒を見てみると、大項目「学校生活全般」、「生徒指導」、「進路指導」、「特別活動」、「健康安全」で肯定的な割合が高く示されました。その中でも小項目「先生は、生徒一人一人を大切にしている」、「先生は進路について適切な指導をしてくれる」、「読書の時間は真面目に取り組んでいる」が増加しています。朝読書については、昨年度の反省を踏まえて、日ごろから読書に取り組むことの大切さ、朝読書の意義を生徒に伝え、それを生徒が理解して取り組んでいる結果と考えます。

肯定的な割合が低い大項目「学習」でも小項目「学習に意欲的に取り組んでいる」、「資格取得に積極的に取り組んでいる」の肯定的な割合が昨年度より上昇しています。その一方で「先生は丁寧でわかりやすい授業をしている」割合はわずかに低下しています。私たちは、日々の教材研究に努め、クラスや生徒の実態に合った授業を展開するよう研鑽する必要があります。

生徒の結果のうち「学校生活は楽しい」、「目的・目標を持って生活している」、「学校は安全で安心して生活できる」、「学校はいじめなどに適切に対応している」、「先生は進路について適切に指導をしてくれる」、「読書の時間は真面目に取り組んでいる」、「学校の安全・安心メールの活用は適切である」、「学校行事に積極的に取り組んでいる」は、肯定的な答えが80%を超えており、「あいさつをよくする」、「時間や服装など、高速を守って生活している」、「スマホ・ケータイ(SNS)適切に使用している」90%を超えています。

保護者、教員のアンケート結果は、全般的に昨年度と大きな違いは見られませんが、保護者のアンケートを見てみると、「学習」の肯定的な割合が昨年度よりも9ポイント低下し、否定的な割合が10ポイント増えています。この点は、生徒の結果と異なります。

生徒の学力や学習への取り組み、生徒のパーソナリティの傾向をはかる基礎力診断テストを令和3年度から実施しています。昨年度は進学指導部、数学科の指導の下、ある一定の学習到達ゾーンの生徒に対して補習を行いました。補習を受けたほとんどの生徒で学習到達ゾーンが上昇しました。今年度は、すでに第1回を実施し、試験前には数学科と英語科で補習を行いました。本校では、基礎力診断テストを通して生徒の学習へのモチベーションを向上させるよう取り組んでいます。

尚、保護者から頂いたご意見は、真摯に受けとめ検討させていただきます。全職員で改善し、次年度に活かしていきたいと思えます。

引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。